学校番号	3035

令和８年度　理科

教科	理科	科目	(学)文系生物	単位数	1単位	年次	3年次
使用教科書	高等学校「生物基礎」（啓林館）						
副教材等	スクエア最新図説生物（第一学習社） SENSOR 生物基礎（啓林館）　チェック＆演習生物基礎（数研出版） 生物基礎単元別問題集〈第２版〉（駿台文庫）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業を活用しよう
　授業中の演習問題を本番のつもりで解き、「なぜその答えを導いたのかを説明できること」「他の生徒の考え方を聞き議論を深めること」がその時間の目標。一つ一つ考え、納得しながら取り組み、必要ならノートにまとめ、知識を再確認すること。
・復習を通して、読解力、思考力をみがこう
　文章量が増えてくるが、何度か読み、復習を繰り返し、なれることが重要。
　定期考査だけでなく、模試の見直しをかならず丁寧に行うこと。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。 生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関係に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	生物の特徴・遺伝子とそのはたらき・ヒトの体の調節・生物の多様性と生態系	〈全範囲〉 生物の特徴 神経系と内分泌系の調節 免疫 植生と遷移 生態系とその保全	a:細胞の構造を理解する。エネルギーと代謝について理解する。DNA の構造と機能に関心を持ち、遺伝情報の発現のしくみを理解している。 b:遺伝子に関するさまざまな計算ができる。 a: 神経系と内分泌系による恒常性の維持のしくみを理解している。免疫のしくみを理解している。 b: 神経系や内分泌系の異常や、免疫システムの異常が体に与える影響を恒常性の維持のしくみと関連させて考察し、適切に表現できる。 a: 気候と植生の関係、植生の遷移の過程を理解している。生態系内の物質循環、保全の方法について知識を身につけている。 b:植生調査や環境調査のデータを読み取り、何が起こっているか表現することができる。 b:生態系の破壊によって生じる現象を人間生活と結び付けて考察し、それらを防ぐ保全の取り組みを適切に表現できる。 b:与えられたデータを読み取って体の中で起こっていることを考察し、表現することができる。 c:意欲的に問題演習に取り組んでいる。	定期テスト・小テスト	定期テスト・観察課題プリント	学習状況・問題集ノート・実験観察プリント
後期		実践問題演習	a: 生物基礎に関する基本事項について理解し、知識を身に付けている。基本的な計算ができ,その過程を適切に表現している。 b: 生物基礎で学習する基本的な実験について、それらの過程や結果を的確に記録、整理、表現している。 C: 意欲的に取り組んでいる。特に、グループでの議論を通し、意見交換や自身の考えを適切に述べられる。	同上	同上	同上

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度